

「平成 30 年度活動報告」

外国人とのスポーツ交流会(30 年度 1 回目)

第 11 回の国際親善卓球大会を、2018年8月26日、くすのきプラザで催しました。くすのきプラザが近づいている台風 20 号の避難場所に使用される可能性があるため「もしかしたら中止」の心配もしたのですが、幸いその影響は全く無くいつもより活気を帯びた大会となりました。その一つの理由は、今回府中中学の男子生徒 3 人女子生徒 3 人が参加してくれたことです。



参加者は外国人 16 名、日本人 16 名で、それぞれから 1 名を出し 16 のペアチームを組みました。内訳は、外国人が、ベトナム人 15 名と中国人 1 名、日本人は府中町卓球協会から 14 名、広報による公募に応募した 2 名でした。競技方式は昨年と同じく各チームが最低 5 回の試合をするようにリーグ戦を組みました。



裏方としては卓球協会から審判員 8 名、国際交流協会から 13 名が精いっぱい運営を支えました。

リーグ戦終了後、中学生 6 名と、デルタ工業のベトナムからの研修生 6 名とで 6 ペアチームを作り、特別追加のデモ 3 試合をする事にしました。これは、プレーをする方も又見る方もとても楽しい体験となりました。特に女子中学生の雰囲気には目をみはるばかりでした。閉会後の昼食時には、自発的にベトナムの方と一緒に座り弁当を頂きながら立派に国際交流をしていたのにも感心した次第です。

今まで、若いベトナムの選手とお母さんぐらいの年齢の日本人選手との交流は見ていてほほえましく、素晴らしい国際親善交流ができたと感じていたのですが、今回のように若い中学生の参加も、両方にとって、フランクに話し合える遠慮のない相手となり、とても楽しくやっていたようでした。



英語であそぼう

小学生を対象とした「英語で遊ぼう！」を開催しました。参加者 18 名+兄弟の幼児 2 名含め総勢 20 名で大変賑やかに盛り上がりました。

講師はマーシー・ヴァスケスさんで、ハロウインの衣装を身につけた児童達は講師と一緒に英語で跳んだり跳ねたり、天気や色、感情表現など体を動かしながら学びました。



その他、ハリーポッターの姿に変身したスタッフが「ブレーメンの音楽隊」の話のスライドを使い、英語で読み聞かせをしました。

アシスタントの田中 裕美さんにもお手伝い頂き簡単な英語遊びをして貰った後、お楽しみの「ハロウイン・ウォーク」をしました。

お家役のスタッフがいる 5 箇所を回り、「トリック or トリート」(お菓子をくれなきゃいたずらすぞ)と言いながらお菓子を貰いにいきました。児童達の可愛い笑顔にスタッフも癒されました。



これを機に英語に親しんで頂けたら嬉しいなと思います！



第17回中学生英語暗唱大会・外国人日本語スピーチコンテスト（2018年12月16日）

町内の中学生11人、ゲストスピーカー17人、外国人3人が参加し、くすのきプラザ1階ギャラリーで開催しました。



平成 30 年度 第 2 回 外国人による講演会(平成 31 年 3 月 3 日)

2019 年 3 月 3 日の「外国人ゲストによる講演会」は、バーバラ シェンクさんをお願いしました。2 年前にアメリカから WFC(ワールド・フレンドシップ・センター)に夫婦で赴任されていますが、今年の 8 月には帰られるのでいいタイミングでお招きできました。

題目は「北海道で過ごした子供時代」です。南北戦争の有名な激戦地であったゲティスバーグの宣教師の娘として生まれ、1950 年後半両親とともに移住した北海道標茶町での主に小学生時代を写真とともに話してくれました。極寒の地で、又車が 1 台しかなかった田舎だったそうです。日本語を覚える前は日本の子供との喧嘩もあったそうですがその後はすっかり溶け込み、日本人のつもりで過ごしていたとか。しかし父兄会で親がクラスに来ると自分は外国人であると気づかされたそうです。



中学、高校は東京のインターナショナル スクールで過ごし、大学はアメリカの大学を卒業しています。アメリカでは伴侶を見つけ、イリノイ州で生活し、教師職についていました。子供たちには原爆の悲惨さを材料に平和の大切さを教えてきました。日本へ来る前には兼業ですがトウモロコシを栽培する農業に一家で従事していたそうです。コンバインの操作が気に入っていたとか。

現館長をしている WFC についても簡単な説明をご主人のダニーさんがしてくれました。創業者バーバラ・



レイノルズさんの遺志を継いで 2 年ごとにアメリカからボランティア館長として来日し世界の平和のために活動されています。

放課後子供教室(2019年ベトナム)

放課後子供教室「国際交流教室」

当協会会員のベトナム出身のフェンさんとフォンさんが、府中町教育委員会社会教育課が主催する放課後子供教室推進事業における「国際交流教室」の講師を務められました。

2月6日～3月6日までの毎週水曜の放課後、町内5校の小学校を回り、各校でおよそ1時間、約20人の児童に自国ベトナムについての授業をしてくださいました。

プロジェクターを使ってさまざまな写真を見せてもらい、ベトナムの紹介をしてもらいました。子供たちは日本と異なる地形や文化、言葉に興味津々で熱心に聞き入っていました。ベトナム語の挨拶も教わりました。

その後、ベトナムの遊びのダーカウを教えてください、一緒に遊んで楽しみました。特別な先入観を持たない子どもたちから異国の文化に触れることの重要性を実感しました。

